

- 問1 瀬戸内海の沿岸部に位置する工業地域において、石油化学コンビナートや製鉄所などの大規模な工場が建設され、重化学工業が発達した主な理由として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 内陸部に広大な平坦地があり、安価で豊富な工業用水を確保しやすいため | 2. 大消費地である東京や大阪の間に位置し、高速道路による陸上輸送が容易なため | 3. かつて周辺に大規模な炭鉱があり、エネルギー源を現地で調達できたため | 4. 原料の輸入や製品の搬出に便利な海上交通の利便性を活かすため |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問2 香川県は瀬戸内式の気候に属し、全国的に見ても降水量が少ないため、古くから干ばつによる被害に悩まされてきました。この問題を解決するため、徳島県を流れる吉野川から、山を貫くトンネルなどの導水路を通じて水を引く大規模な利水施設が建設されました。この施設の名称として正しいものを選択してください。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 香川用水 | 2. 愛知用水 | 3. 讃岐用水 | 4. 吉野川疎水 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問3 中国・四国地方にある県のうち、県域の北側が広く日本海に面しており、瀬戸内海には面していない県はどこですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 広島県 | 2. 兵庫県 | 3. 香川県 | 4. 鳥取県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問4 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、世界最長の吊り橋である明石海峡大橋を含む「神戸・淡路・鳴門ルート」における、2000年から2016年にかけての交通量と旅客輸送の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 通行台数は増加しているものの、環境保護の観点から大型の乗合バスの通行が制限されたため、旅客輸送の主体は鉄道に移行した。 | 2. 年間の通行台数は約427万台減少しており、それに伴って本州と四国を結ぶ移動手段は乗合バスからフェリーへと回帰している。 | 3. 年間の通行台数が約427万台増加して1300万台を超え、徳島県と兵庫県の間を結ぶ乗合バスの旅客輸送人員も増加傾向にある。 | 4. 通行台数は1300万台前後で横ばいであるが、景気の影響によって貨物輸送量と乗合バスの旅客数はともに大幅に減少している。 |
|--|--|---|--|
- 問5 日本の諸地域のうち、香川県の高松市などに代表される瀬戸内地域の気候において、年間を通じて降水量が少なくなる主な要因は何ですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 標高の高い中国山地と四国山地に挟まれた盆地状の地形で、常に上昇気流が発生して雲が消滅するため | 2. 北側の中国山地から吹き下ろす冷たい風が、冬の間に大量の雪を降らせて空気中の水分を奪うため | 3. 南側の四国山地が台風の接近を完全に防ぎ、夏から秋にかけての降水がほとんど見られないため | 4. 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った季節風を遮る壁のような役割を果たしているため |
|---|---|--|---|
- 問6 ある統計資料において、果実産出額が497億円に達し、近隣の県や三重県などの他県と比較しても非常に高い数値を示している県があります。この県では、瀬戸内地方の温暖な気候を活かして、みかんなどの柑橘類の生産が盛んに行われています。この特徴に合致する県はどこですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 青森県 | 2. 宮崎県 | 3. 和歌山県 | 4. 愛媛県 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問7 中国地方の日本海側に位置する鳥取県における産業や農業の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 製造品出荷額などの工業規模は比較的小さく、農業産出額において果実生産の割合が高い。 | 2. 降水量が極めて少なく、農業産出額の大部分を綿花栽培が占めている。 | 3. 温暖な気候と豊かな降水量を生かして茶の栽培が全国1位となっている。 | 4. 工業の製造品出荷額が全国上位であり、農業では米の生産割合が80%を超えている。 |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問8 多くの都道府県でなすの出荷量が増加する夏から秋にかけては、市場におけるなすの平均価格が下落する傾向にあります。これに対し、高知県は冬から春にかけての出荷量を大幅に増やす戦略をとっていますが、その目的として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
| 1. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるため、収穫時期を半年遅らせるため | 2. 冬から春にかけての冷涼な気候を好む特定の品種を、大規模に栽培するため | 3. 他の産地の出荷が少なく市場価格が高騰する時期を狙い、高い利益を得るため | 4. 近隣の消費地への輸送コストを削減し、安価で新鮮な野菜を大量に供給するため |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---|
- 問9 地形図上に引かれた二地点間の高低差を垂直方向の断面で示したものを断面図といいます。標高332.4mの高尾山があるA点から、等高線のほとんどない境港港付近のB点に向かって直線を引いたとき、その直線上における地形の断面の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---------------------------------------|
| 1. A点付近は平坦な土地が広がり、B点に近づくにつれて標高が高く斜面が急になる。 | 2. A点からB点まで、標高の変化がほとんど見られない一定の高さの台地が続く。 | 3. A点付近は標高が高く斜面が急で、B点に近づくにつれて標高が下がり平坦になる。 | 4. A点からB点に向かって、中央部が大きく凹んだ盆地のような形状が続く。 |
|---|---|---|---------------------------------------|
- 問10 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。 | 2. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。 | 3. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。 | 4. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。 |
|--|---|--|---|
- 問11 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 神戸・鳴門ルート | 2. 明石海峡ルート | 3. 尾道・今治ルート | 4. 児島・坂出ルート |
|-------------|------------|-------------|-------------|
- 問12 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の移動手段を調査した統計において、1985年には全体の一定割合を占めていた船舶の利用が減少し、代わって自動車が全体の約3分の2を占めるほどに急増しました。このような交通手段の変化をもたらした主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 格安航空路線の拡大により、人々の移動手段の大部分が航空機へ転換されたこと | 2. 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。 | 3. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐために、旅客船の航行が全面的に禁止されたこと。 | 4. 鉄道網の高速化が進み、自家用車よりも鉄道による移動が一般的になったこと。 |
|---|--|---|---|